

## 第二次世界大戦 - World war -

武者小路実篤は筋金入りの平和主義者として、大の軍人嫌いとして知られた。その人が「十二月八日は大した日だった」「勝利はよき哉(かな)」と随筆に書いている。65年前のその日、世を覆った高揚感がいかほどであったかは、当時の空気を吸い、当時を生きた人でなければ、肌で分からないのだろう。今年も日米開戦の日が巡ってきた。時折、不思議に思うことがある。戦争を肯定した、戦争に協力したとして戦時中の言動をとがめられた文学者には情の深い、大衆のことを親身に案じてきた人が少なくない。武者小路しかり、林芙美子しかり、菊池寛しかりである。戦後、公職追放になったとき、菊池は憤りをこめて語った。「僕はこんな戦争に賛成ではなかったが、始まった以上は、全力を尽くして負けないように努めたのは当たり前だし、誇りに思っている」と。人は誰も、情の深い人はなおさら、戦地にいる兵隊さんの力になりたいと思う。戦争は雪の玉に似ていよう。最初に雪を丸めたのが無謀で乱暴な軍部であったとしても、いったん転がりだせば、平和を愛する人、良識ある人をも巻き込んで大きくなっていく。だから転がしてはいけない、始めてはいけないのが戦争だろう。8月15日の終戦記念日と同じように、それ以上に、「不戦の誓い」の重さをかみしめる日である。

(2006年12月8日 読売新聞 編集手帳より)

開戦：1939年9月1日

ドイツ軍のポーランド侵攻とそれに対するイギリス・フランスの対ドイツ宣戦布告。

終戦：1945年9月2日

死者数

日本が降伏文書に調印。

枢軸国：軍人 800 万人 連合国：軍人 1700 万人

場所：ヨーロッパ

民間人 400 万人

民間人 3300 万人

アジア・太平洋

(諸説あり)

主な交戦勢力 (指揮官)	
枢軸国	連合国
 ナチス・ドイツ (アドルフ・ヒトラー)	 ソビエト連邦 (ヨセフ・スターリン)
 大日本帝国 (東条英機)	 アメリカ合衆国 (F・ルーズベルト)
 イタリア王国 (ベニート・ムッソリーニ)	 イギリス (ウィンストン・チャーチル)
	 中華民国 (蒋介石)

### その他の参戦国

満州国・国民政府・フランス・ブルガリア ハンガリー・フィンランド (後に連合国) タイ (後に連合国)・ブルガリア (後に連合国) ルーマニア (後に連合国)	オランダ・フランス・ユーゴスラビア ベルギー・デンマーク・カナダ・ブラジル メキシコ・オーストラリア・南アフリカ ノルウェー・ポーランドなど
--	---

### 中立国

フランスは、ヴィシー政権と自由フランス

スペイン・ポルトガル・スイス・スウェーデン・アイルランド・バチカン

## 対戦前の日本・アメリカ・イギリス・ドイツ・その他の国々

**日本** 1937年の盧溝橋事件から戦争状態が続いている。中国を次々と攻略、占領。仏領インドシナ(ベトナム付近)まで進攻するも、なかなか中国政府が降参しない。中国に協力しているアメリカ・イギリスを倒さなければならない。1941年、ハワイ真珠湾攻撃。オランダ・イギリス・アメリカに宣戦布告。

**アメリカ** 1929年10月24日「暗黒の木曜日」株価大暴落で資本主義国に大打撃。ニューディール政策により、公共事業で回復を図るも、軍需頼りか・・・。

**イギリス** いわゆるブロック経済により植民地を使い、国内生産を保護。経済回復を図る。

**ドイツ** 経済の停滞による政情不安により、ファシズム的思想の浸透やそれに伴う軍部の台頭。人種差別的思考が出てくる。

**アジア・アフリカ** 日本とタイを除くアジアとアフリカ諸国は、ヨーロッパ諸国の植民地。アジアでは独立運動が行われていたが、アフリカはエチオピアを除き、組織的な独立運動はなく、大戦には影響を与えなかった。

## 大戦経過 ヨーロッパ



### 1935 - 1939年のヨーロッパ情勢

- ・ ドイツに危険なナチス政権
- ・ イギリスは植民地の独立運動で痛手。平和の継続。対ドイツはソビエト連邦に任せる
- ・ イタリアは、エチオピア戦争で国際的に非難を受け、国際連盟を脱退し孤立。ドイツと組む。



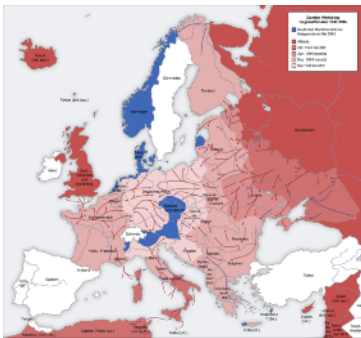
### 1939年のヨーロッパ情勢

- ・ ドイツとソビエト連邦が、ポーランドへ侵攻
- ・ ソビエト連邦がフィンランドに侵略し、国際連盟を除名される



### 1940 - 1941 年のヨーロッパ情勢

- ・ ドイツが中立国のデンマーク・ノルウェーへ侵攻
- ・ 日独伊三国同盟
- ・ ドイツがフランスへ侵攻、フランスは分裂
- ・ 北アフリカは、ヴィシー政権のフランスの植民地
- ・ ドイツがバルカン半島へ侵攻
- ・ 日本のアメリカへの宣戦布告を受け、ドイツ・イタリアも宣戦布告
- ・ 虎視眈々と狙っていたアメリカが正式参戦。
- ・ 戦場がアジアにも広がる



### 1943 - 1945 年のヨーロッパ情勢

- ・ 43年9月、世界で最初にイタリアが降伏
- ・ ノルマンディー上陸作戦
- ・ ナチスによるユダヤ人大量虐殺
- ・ 45年5月、ドイツ降伏

## 大陸経過 アジア

### 1937 - 1942 年のアジア情勢

- ・ 日本海軍による真珠湾攻撃（1941年12月8日）
- ・ マレー沖海戦で最強のイギリス艦を撃沈

マレーシア（イギリス領）

フィリピン（アメリカ領）

ボルネオ島（オランダ領）

インドネシア（オランダ領）

北京・上海

日本軍侵攻  
インドシナ半島は  
味方のフランス



- ・ アメリカは日本の宣戦布告を受け、宣戦布告決議を可決させる（反対票1票）
- ・ タイは日本と無理矢理、日泰攻守同盟条約を結ばされる。
- ・ 日本軍がフィリピンを制圧。ダグラス・マッカーサーは多くのアメリカ兵を残し、自身はオーストラリアへ逃亡。
- ・ ミッドウェー海戦で大敗するも、国民には知らせず。

## 1943 - 1945 年のアジアの情勢

- ・ 日本軍が太平洋上の拠点を失う
- ・ 東条英機がタイ王国・フィリピン・ビルマ・自由インド仮政府・南京国民政府の首脳を東京へ集め、大東亜会議を開く
- ・ 日本陸軍とイギリス陸軍がインド・ビルマで対戦。歴史的な大敗し、ビルマを失う。



- ・ 北海道・東北地方以外で本土空襲を受ける
- ・ 硫黄島の戦い。日本軍に戦力が残っていないのは明らか。
- ・ 連合国軍によるフランス解放により、インドシナ半島が独立。
- ・ 沖縄戦。神風特別攻撃隊の編成。戦艦大和撃沈。
- ・ ドイツの降伏により、連合国の相手を一国で対峙することになる。
- ・ ポツダム宣言を黙殺 広島・長崎に原爆が投下され、死者 20 万人以上。
- ・ ソビエト連邦の条約破棄による参戦を受け、ポツダム宣言を受諾、終戦。

## 戦争の結果

- 日本** 連合国軍による占領。日清戦争以後獲得した領土を失う。
- 中国** 国内内戦（国民党 vs 共産党）。共産党が 1949 年に中華人民共和国と樹立。
- 台湾** 国民党が台湾で中華民国を継続。国際連合が中国を中華人民共和国とし、脱退。
- タイ** 枢軸国だったが、アメリカが鞍替え参戦を主張し、敗戦国扱いを受けず。
- ベトナム** 日本から独立が与えられるもフランスが認めず。インドシナ戦争へ発展。
- インドネシア** 独立宣言するもオランダが許さず、インドネシア独立戦争へ突入。
- フィリピン** 大戦中に日本占領下から独立したが、再びアメリカ統治下へ。その後独立。
- インド** ガンジー・ネルーの運動で 48 年に独立。パキスタン、バングラディッシュ。
- ドイツ** 日本同様、ニュルンベルグ裁判で戦争犯罪人が裁かれる。
- オーストリー** 冷戦にも関わらず、国家統一の維持成功。永世中立国となる。
- イタリア** ファシスト党は一掃され、共和制へ移行。
- イギリス** 植民地の相次ぐ独立により、大英帝国の栄光は過去のものに。
- フランス** ヴィシー政権は崩壊。北アフリカ諸国を植民地に戻すも、国力低下で独立。
- ソビエト連邦** 東ドイツ・ポーランドなどに親ソ共産政権を樹立。
- アメリカ** 日本を事実上統治。朝鮮半島南部を日本に代わり支配。

アメリカ・イギリスを中心とする**資本主義国**とソビエト連邦を中心とする**共産主義国**間で冷戦が始まる。

アメリカにならって、イギリス・フランス・ソビエト連邦が核兵器の開発・製造に急ぐ。